

第3回「内航船の日」

東京・下町の銭湯で 内航船PR

今年も様々な媒体で「内航船」という言葉を紹介していただきました。

船員として心から感謝を申し上げます。

今回は、内航海運新聞、船員災害防止協会誌、全日本船舶職員協会報、内航ジャーナル誌など業界紙誌をはじめ、神奈川新聞や山口新聞などの一般紙でも大きく取り扱っていただくことになりました。

特に、山口新聞の紙面（平成30年7月14日号）には『あす記念日 まず認知度アップへ』の見出しで掲載。船員不足の深刻な危機感を報じるために、県内の船主組合の理事長への取材に続き、内航海運業の認知度向上に取り組む別の動きとして、内航船の仕事を絵本にした谷川夏樹さんや「海から届ける写真展」を開催している全日本内航船員の会の事務局長にも取材があり、大変熱のこもった記事にまとめ上げられていました。

今年はラジオ放送でもTBSラジオやエフエム大分で記念日「内航船の日」が取り上げられました。エフエム大分での放送、DJ NAVEさんの内航船への熱い思いは内航海運新聞で記事にもなりました。

他にも、アート系の情報サイトによって谷川夏樹さんの芸術活動が記事になることで「内航船の日」が紹介されることにもなりました。

資料として業界新聞の記事を転載し、ご報告いたします。

（全日本内航船員の会 事務局）

内航海運新聞（平成30年7月23日「海の日特集号」）での記事を紹介いたします。 以下転載

第3回「内航船の日」

東京・下町の銭湯で内航船をPR

30日まで「海から届ける写真展」開催

第3回目を迎える7月15日の記念日「内航船の日」まで、いよいよあと6日と迫ってきた。昨年の既報のとおり、今年で3年目を迎える7月15日の「内航船の日」を記念したPRイベント「第3回海から届ける写真展」が、全日本内航船員の会の主催により東京スカイツリーのふもとにある下町の銭湯「大黒湯」のロビーで開催中だ。

「内航船の日」とは、内航船が好きで、船員たちと交流してきた一般市民が、「ナナ・イチ・ゴ」→「ナイコー」であることから、7月15日を「内航船の日」にしようと呼びかけ、2015年に日本記念日協会によって認定されたもの。一般市民からの発信であったことが内航海運業界でも大きな話題となった。

3回目となる「海から届ける写真展」では、全国の内航船員から寄せられた280点余りの写真から厳選された18点を展示。

「ありふれた普通の船員たちの写真を展示したいと思っているが、どれも素敵な写真ばかりで選考が本当に大変。そ



の多くが立派なカメラではなくスマホで撮られたもの。そのことを話すと皆さん驚かれる。それだけで船員が見ている景色が特別なのだと感じる」(全日本内航船員の会・松見準事務局長)。

第1回は船上からの綺麗な景色など「船員の海」、第2回は厳しさもある「仕事の海」をテーマとしていたが、今年は「西日本豪雨により道路が寸断される中、日本全国、津々浦々で物資輸送を守り続けている内航船をイメージしてもらいたい」(同)と考え、
◇流氷の海や南の孤島での入港風景 ◇住宅も見えるほどの狭水道での航行 ◇港内や航路でのラッシュ風景 ーなど、個性的で人間味溢れる写真作品を展示している。

会場ではこれら写真作品のほか、内航船の中で暮らす人気の航海士ネコ「カンパチ船長」が内航船生活を案内するパネルを特別展示。また、内航貨物船について解説するパネルも併設展示している。さらに今年は、「内航船の日」の提唱者であり、内航船を紹介する絵本『かもつせんのいちにち』(福音館書店)の作者でもある谷川夏樹さんのサイン本(限定20冊)を大黒湯のフロントで特別販売している。

地元で愛される下町の銭湯「大黒湯」は、日替わりの薬湯や展望風呂、高濃度人工炭酸泉、サウナなどが楽しめ、老若男女問わず多くの人々が利用する憩いの場。その利用者のほとんどが内航海運とは縁もゆかりもないが、湯上がりの休憩中、展示写真を眺める姿が見られた。会場に設置するノートには「内航船の日おめでとう!」「内航船員の皆様、内航船の会社様、これからも頑張ってください。応援しています!」などのメッセージが寄せられている。

松見事務局長は、「例年よりも綺麗な写真が減って、マニアックになり過ぎたかもしれないと心配していたが、会場では『綺麗な写真だ』と言ってくれる人もいた。やはり海は美しいのだと感じた。そして陸の社会との一体感を感じられるのも、この写真展を通じて『海』とつながることができるからだと思う」と写真展をアピールする。

同展の開催は7月30日まで。「大黒湯」の所在地は東京都墨田区横川3-12-14。東京メトロ半蔵門線、東武伊勢崎線、都営浅草線、京成押上線「押上駅B2出口」より徒歩6分。東京スカイツリーより徒歩10分。入浴料は大人460円、中学生360円、小学生180円、0歳～幼児80円。火曜日は定休日。(了)